

## 〔平成28年度 伊勢市下水道事業会計決算の概要〕

本年度の下水道事業は、流域関連公共下水道事業では、第3期事業及び第4期事業にかかる汚水幹線築造及び管渠の面整備工事等を行いました。また、宮川流域下水道への接続替えにより用途廃止をした旧小俣浄化センターの機械類の撤去工事を行い、資産の処分をいたしました。宇治・中村特定環境保全公共下水道事業では、五十鈴川中村浄化センター施設の長寿命化を図るため機械類の更新計画を作成しました。

雨水対策事業としては、都市部の浸水被害を防ぐため雨水管理総合計画に着手し、また、ポンプ等の長寿命化を図るため機械・電気設備の更新工事を行いました。

維持管理業務においては、汚水処理場や雨水ポンプ場の適正管理を行うとともに、供用区域の水洗化に向けた地元説明会の開催や戸別訪問等による普及啓発に努めました。

### 1. 経営成績 (単位：千円)

区 分	金 額
収益的収入	3,610,984
収益的支出	3,338,091
当年度純利益	272,893
その他未処分利益剰余金変動額	131,110
当年度未処分利益剰余金	404,003

※ 議会の議決により、当年度未処分利益剰余金のうち、その他未処分利益剰余金変動額分は資本金に組み入れ、当年度純利益分は資本的支出の財源として減債積立金に積立しました。

### 2. 財政状態 (単位：千円)

区 分	金 額	区 分	金 額
資 産	68,167,120	負 債	60,262,279
固定資産	64,807,206	固定負債	30,562,705
流動資産	3,359,914	流動負債	2,352,096
		繰延収益	27,347,478
		資 本	7,904,841
		資 本 金	6,734,915
		剰 余 金	1,169,926
		資本剰余金	765,923
		利益剰余金	404,003
合 計	68,167,120	合 計	68,167,120

### 3. 業務量の概要

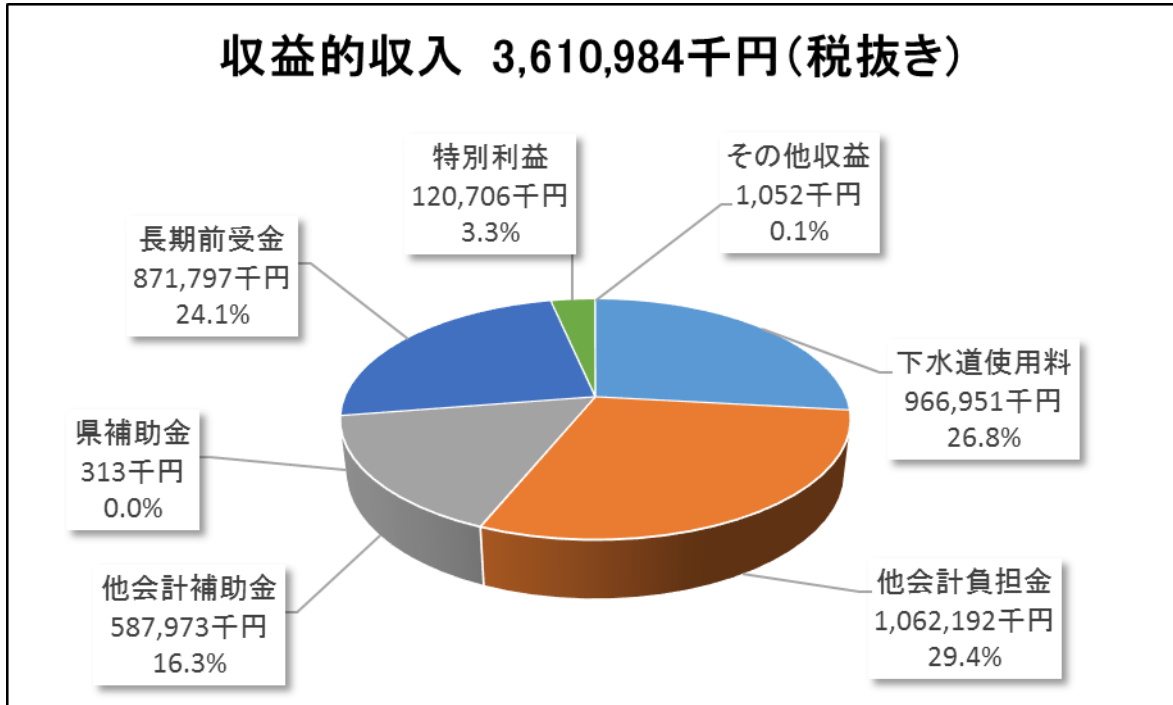
項 目	平成 28 年度	平成 27 年度	比 較	
			増・(△)減	比 率
行政区域内人口 A 人	128,288	129,353	△1,065	99.2%
処理区域面積 ha	1,688.3	1,649.8	38.5	102.3%
汚水管渠布設延長 m	407,644	396,491	11,153	102.8%
処理区域内戸数 戸	27,438	26,765	673	102.5%
処理区域内人口 B 人	65,356	64,493	863	101.3%
水洗化戸数 戸	22,045	20,892	1,153	105.5%
水洗化人口 C 人	52,576	50,441	2,135	104.2%
普及率 B/A %	50.9	49.9	1.0	—
水洗化率 C/B %	80.4	78.2	2.2	—
処理水量 D m <sup>3</sup> /年	6,040,341	5,901,635	138,706	102.4%
有収水量 E m <sup>3</sup> /年	6,270,080	5,980,054	290,026	104.8%
有収率 E/D %	103.8	101.3	2.5	—
雨水管渠布設延長 m	12,270	12,237	33	100.3%
ポンプ場稼動時間 H/年	1,230.6	1,709.4	△478.8	72.0%

[下水道事業の収支]

1. 収益的収支

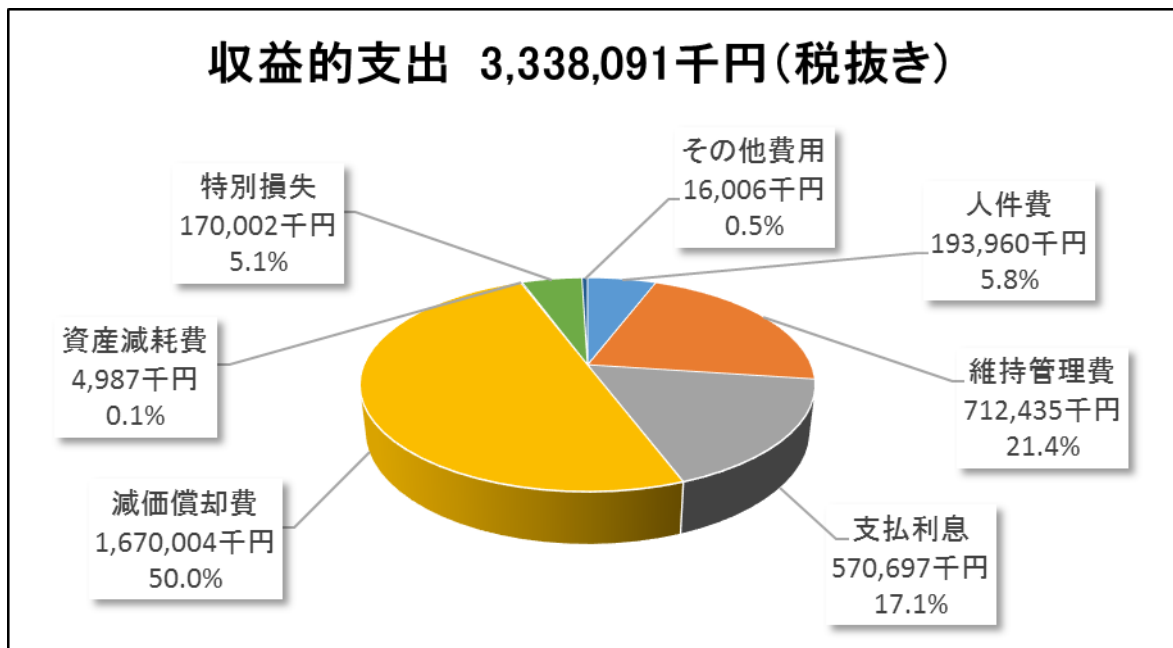
① 収益的収入

施設の維持管理費等下水道事業の経営に必要な経費（収益的支出）の財源。利用者に負担いただく下水道使用料や一般会計繰入金（他会計負担金、他会計補助金）、国県補助金、長期前受金等で構成しています。



② 収益的支出

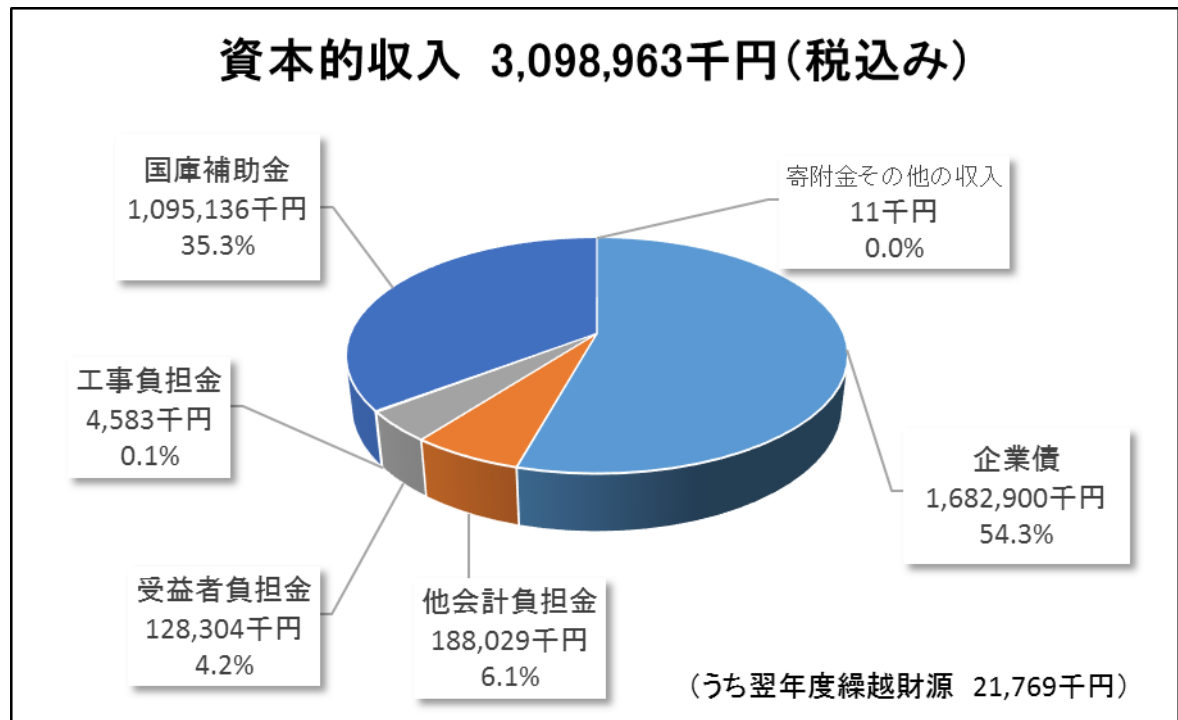
下水道使用料、一般会計繰入金等（収益的収入）を財源として、下水道事業を運営していくために必要な経費。施設の維持管理費、人件費、施設の建設等に要した借入金の支払利息、減価償却費等で構成しています。



## 2. 資本的収支

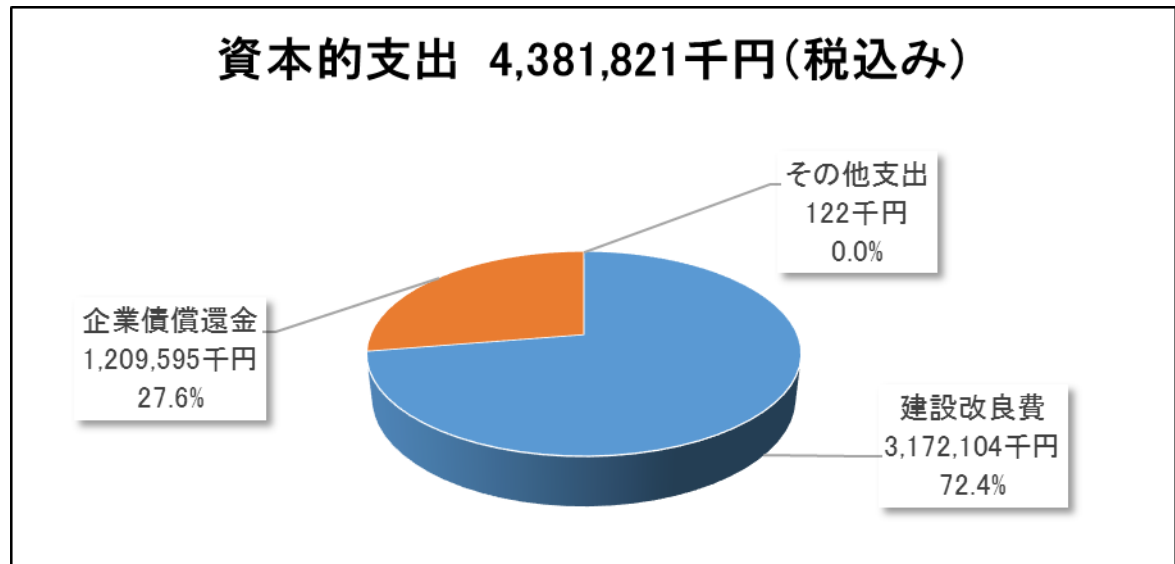
### ① 資本的収入

施設の建設改良及び建設改良にかかる企業債償還金（資本的支出）の財源。企業債、一般会計繰入金（他会計負担金）、受益者負担金、国庫補助金等で構成しています。



### ② 資本的支出

企業債や国庫補助金、受益者負担金等（資本的収入）を財源として、将来の経営活動に備えて行う施設・設備の建設改良や企業債の償還にかかる事業費。建設改良費、企業債償還金等で構成しています。



資本的収入額（翌年度繰越財源 21,769 千円を除く。）が資本的支出額に不足する額 1,304,627 千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 123,403 千円、繰越工事資金 22,368 千円、減債積立金 131,110 千円、過年度分損益勘定留保資金 1,027,746 千円で補填しました。